# 28 医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

## 病院の概要

- **医師数（研修医を除く）**62 名（うち指導医数　12 名）
- **研修医数**　1 年目　8 名　2 年目　4 名
- **研修医の主な出身大学**　産業医科大学・福島県立医科大学・秋田大学・埼玉医科大学・筑波大学・新潟大学・旭川医科大学・群馬大学・帝京大学・山梨大学・金沢大学・長崎大学
- **診療科**　内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科　代謝・糖尿病内科　腎臓内科　神経内科　外科　心臓血管外科　呼吸器外科　整形外科　脳神経外科　乳腺外科　形成外科　皮膚科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　麻酔科　救急科　病理診断科
- **1 日平均外来患者数**　343.2 名　●**1 日平均入院患者数**　292.2 名
- **主な認定施設**　地域医療支援病院、埼玉県がん診療指定病院、埼玉県立がんセンター医療連携施設、災害拠点病院、埼玉県救急搬送困難事案受入病院

## 研修プログラムの特色

このプログラムは、救急医療、プライマリ・ケアにおける基本的診療の知識、技能を習得し、総合的臨床能力と医療人としての正しい態度を身につけることを目的とする。総合診療方式（スーパーローテイト方式）による２年間の初期臨床研修プログラムです。内科・救急科・小児科・産婦人科・外科・麻酔科・精神科及び地域医療の各科ローテーションを必須とし、かつ救急部門も平行し、急性期救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診・初期診断・初期治療の実際から適切な診断能力を身につけるようにします。具体的には臨床研修到達目標（厚生労働省）を目的としています。

## プログラム　例　新久喜総合病院卒後臨床研修プログラム（募集定員 8 人）

| | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 年目 | 内　科 | | | | | | 救急科 | | | 外　科 | 麻酔科 | 精神科 |
| 2 年目 | 地域医療 | 小児科 | 産婦人科 | 選択科目 | | | | | | | | |

1 年次は内科（6 ヶ月）、救急科（3 ヶ月）、外科（1 ヶ月）の必修科目と、病院で定めた必修科目の麻酔科（1 ヶ月）を新久喜総合病院にて行い、精神科（1 ヶ月）を協力型病院にて行います。2 年次は地域医療（1 ヶ月）、小児科（1 ヶ月）、産婦人科（1 ヶ月）を協力型病院にて行います。2 年間を通じて 12 ヶ月は基幹型である新久喜総合病院にて行うこととしています。

## 研修医の処遇

| | |
|---|---|
| 給　与 | 1 年次 :650 ～ 700 万（税込）　2 年次 :700 ～ 750 万（税込）<br>※当直手当、時間外手当等含む。 |
| 保　険 | 組合健康保険、厚生年金、雇用保険 |
| 勤務時間 | 8 時～ 17 時 |
| 当　直 | あり（6 回 / 月） |
| 休　暇 | 有給休暇（1 年次：10 日、2 年次：11 日） |
| 宿　舎 | あり |
| そ の 他 | 学会、研修会参加について病院補助あり |

## 主な臨床研修協力病院 協力施設

- 新上三川病院
- 所沢明生病院
- 鴻巣病院
- 熊谷総合病院
- 羽生総合病院
- 深谷赤十字病院
- 芳賀赤十字病院
- 土屋小児病院
- 他、関連病院など。

## 当院の魅力

### 研修医自ら経験できる環境

当院では研修医自ら前面で基本的な手技や診察を行い、それを上級医・指導医が後方から指導します。研修医が自ら経験できる環境です。多くの症例に接し、各専門診療科での研修では３年目以降の進路に沿った専門的な指導も行っています。

◎相談しやすい環境

診療科ごとの垣根がなく、ローテイト中ではない他の診療科の上級医・指導医に、研修医が直接コンサルトできる話しやすい環境です。

◎知識を身につける毎朝の救急カンファレンスを実施。院内、院外での学術発表にも積極的に参加しています。研修医の学会参加についても病院補助を行うなど、積極的に支援も行っています。

◎住環境

病院の敷地内に寮を完備しています。医師専用の寮も新たに建設中です。(徒歩２分)設備面でもサポートを行っています。

☆学会認定施設(新専門医制度)

日本内科学会認定医制度教育関連病院（専門研修連携施設）、日本外科学会外科専門医制度修練施設（専門研修連携施設）、日本整形外科学会専門医制度研修施設（専門医養成プログラム連携施設）、日本脳神経外科学会（専門研修連携施設）、日本救急医学会認定専門医指定施設（専門研修連携施設）、日本麻酔科学会認定研修施設（専門研修連携施設）、日本形成外科学会認定施設（専門研修連携施設）、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本がん治療認定医機構研修施設、日本腎臓学会研修施設循環器専門医研修施設（研修施設）、三学会構成心臓血管外科（専門医認定関連施設）、日本乳癌学会専門医制度関連施設、日本消化器外科学会専門医制度認定施設腹部救急認定医・教育医制度認定施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導連携施設、日本腹部救急医学会認定施設、日本呼吸器外科学会専門研修連携施設(申請中)

## 研修責任者から message

プログラム責任者
**信太　薫**

新久喜総合病院は、断らない医療を実践しています。研修医の皆さんには、まず、generalist として、救急の現場でご活躍いただきます。第一線の救急の現場で、様々な患者さんと出会い、指導医とともに、多くの経験を積んでいただきます。

当院の指導医は、specialist として、各々、専門領域で活躍していますが、救急当番の際には、generalist として活躍できる素養を持っています。研修医の皆さんとともに治療にあたり、様々な臨床現場での判断を指導、サポートします。研修医の皆さんは、研修期間が終わる頃には多くの様々な救急症例を経験し、救急現場で、ある程度判断、治療できる力がつくようになります。

埼玉県利根医療圏は、人口当たりの医師数が大変少ない医療圏です。地域の皆さんのために、利根医療圏の救急医療をともに支えていきましょう。研修医の皆さんの限りなき情熱が新久喜総合病院の活力となり、地域医療を支える原動力となっていくのです。研修医の皆さんは、救急チーム医療の、そして、新久喜総合病院のかけがえのなメンバーです。

## 先輩研修医から message

研修医２年目
**井戸田　健**

診療科の垣根が低く、上級医の先生方と研修医の距離も近くて症例が多いことから研修先に選びました。実際、１年目から経験できる手技も多く、色々と学べる環境なので、自分の成長につながっていると感じています。積極的、主体的に研修に取り組みたい、と考えている方に向いている病院です。研修医２年目は選択科目の期間で３年目以降も視野に入れた研修もできるので、その進路に沿って重点的に学びたい、色々経験してみて自分に合ったものを選びたい、といった様々なニーズも満たしてくれる病院だと思います。

## 女性医師支援コーナー

院内保育所を設置しております。女性専用の当直室あり。


連絡先　**新久喜総合病院**

総務課　臨床研修担当

**〒346-8530　久喜市上早見 418-1**

TEL　0480-26-0033（代表）　FAX　0480-44-8026

E-mail　kukijinji@shinkuki-hp.jp

URL　http://www.shinkuki-hp.jp

アクセス　久喜駅からバスで約 10 分


## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【病院見学随時受付中】
・申込みは当院 HP の初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくは E-mail から申込み下さい。
・交通費支給（上限あり）
【インターンシップ受付中】
・申込みは当院 HP の初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくは E-mail から申込み下さい。
・実践型インターンシップ　・宿舎利用可能